

年頭のご挨拶

商工会長
吉田 博之



新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

様々な影響をもたらした新型コロナウイルス感染症も感染症法上の5類移行し、地域経済は緩やかな回復基調にあるといわれ、本格的なウイズコロナ・ポストコロナの到来という節目を迎えております。

一方、原油や原材料、物価の高騰が続いており、最低賃金の引き上げも伴い、価格転嫁に苦慮しており、依然として厳しい経営環境に置かれております。

こうした状況下、商工会は会員事業者の最も身近な相談窓口として、町など行政と一体となり資金繰り・生産性向上・事業継続等のための支援や従業員の雇用確保対策など会員事業者に寄り添って多様な支援を行って来ており、以前にも増して商工会に対する信頼が高まっていると感じております。また、本会だけでは解決できないものは、町を初め関係機関に要望活動も行っております。

引き続きインボイス制度や電子帳簿保存法への対応、DX・デジタル化の推進、事業承継支援、自然災害等に備えたりリスクマネジメントなど、様々な経営課題があり、会員それぞれに対応した伴走型の支援が求められております。

今後とも、会員はもとより、行政、地域住民などからの期待にも応え、地域経済の持続的かつ安定的な発展を図るため、役職員各々が自覚と責任を持ち、邁進して参りますのでご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに会員の皆様のご活躍とご多幸をご祈念申し上げ年頭のごあいさつといたします。

令和5年度要望活動について

11月2日に物価・エネルギー価格高騰対策の企業支援拡充、働き手確保の為の移住定住施策の充実、外国人労働者を雇い入れる際の支援や住環境整備など、全5項目の要望書を町に提出しました。

この他、10月12日に置賜地区商工団体協議会として県への要望活動を実施いたしました。

